

令和6年（2024年）4月25日発行

八幡市議会だより

No. 241

〒614-8501 京都府八幡市八幡園内75番地
TEL 075-983-5532 FAX 075-982-9880
八幡市・八幡市議会ホームページアドレス
<https://www.city.yawata.kyoto.jp>

発行：八幡市議会
編集：広報編集会議



男山第2住宅集会所前

CONTENTS

令和6年第1回定例会の概要	2～3ページ
代表質問	4～10ページ
一般質問	11～13ページ
委員会審査報告	14～16ページ
令和6年度予算特別委員会	17～19ページ
議案・議決結果一覧表	20ページ

令和6年 第1回定例会

令和6年度一般会計予算案

309億1000万円など37議案を

可決・同意

令和6年第1回定例会は、2月26日から3月28日までの32日間の会期で開きました。

今定例会には、市長から令和6年度一般・特別・水道事業・下水道事業の各会計予算案8件、条例案16件、令和5年度一般・特別・水道事業・下水道事業会計補正予算案8件、人事案1件、その他2件、報告2件、合計37件の議案が提出されました。また、議員から条例案1件、意見書案1件、市民から請願2件、陳情・要望3件が提出されました。

審議の結果、市長提出議案及び議員提出議案は、すべて原案のとおり可決・同意、市民提出の請願2件は不採択、陳情・要望3件（陳情・要望第1号 淀川舟運の八幡地区での早期着工を求める陳情、第2号 習い事・塾費用の公的助成制度を求める陳情、第3号 ごみのポイ捨て禁止に特化した条例を求める陳情）は審議未了となりました。

なお、令和6年度の各会計予算案8件については、令和6年度予算特別委員会を設置して審査を行いました。

また、開会日の本会議において、川田市長から施政方針が述べられました。

主な議決内容

議案第24号（第31号） 令和5年度の 各補正予算案を可決

令和5年度の一般会計を6億569万8千円増額し324億8189万8千円に、特別会計の休日応急診療所の財源の組替を行い、駐車場の290万円増額し1150万円に、国民健康保険を3087万1千円増額し75億2737万1千円に、介護保険を2億7076万7千円増額し66億376万7千円に、後期高齢者医療を1億2065万円増額し23億5435万円に、水道事業会計の収益的収入を159万円増額し18億213万5千円、収益的支出を63万6千円増額し17億765万5千円、資本的収入を260万円増額し2億7951万6千円、資本的支出を1060万円増額し7億421万4千円に、下水道事業会計の収益的収入を3890万円減額し16億6660万8千円、収益的支出を3392万9千円減額し16億4604万4千円とする各補正予算案を可決しました。

主な補正予算案は次のとおりです。

●職員給与費（1億352万2千円）
当初の見込みより退職者の人数が増加したことによる経費です。

●基金積立金（9228万円）
トイレカーの購入及び今後の起債の償還等に備え、ふるさとづくり事業基金、減債基金及び公共施設等整備基金に、今年度の寄附金収入や地方交付税等の増加により生じた財源等を充当して積立する経費です。

●低所得世帯等物価高騰対策支援及び定額減税補足給付金給付事業費（2億9000万円）
物価高騰による負担増に対する支援を行うため、住民税均等割のみ課税世帯1世帯当たり10万円、低所得の子育て世帯の児童一人当たり5万円の給付金を支給するための経費です。

●単独道路等整備事業費（3800万円）

国の補正予算等を活用して実施する、道路改良工事や橋りょうの長寿命化に要する経費です。

●男山第二中学校整備事業費（1億3300万円）

男山第二中学校の武道場長寿命化改良工事に要する経費です。

議案第11号 八幡市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例案

マイナンバー法の改正に伴い、省令で定められた事務である特定個人番号利用事務について他の市町村への情報連携が可能となることから所要の規定の整備を行うものであり、原案を可決しました。

議案第13号 八幡市介護保険条例の一部を改正する条例案

令和6年度からの第9期介護保険事業計画の実施に向けて、介護保険制度の適正な運用を維持するために保険料等の改正を行うものであり、原案を可決しました。

議案第22号 八幡市上水道給水条例及び八幡市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める条例の一部を改正する条例案

水道法の改正等に伴い、水道事業の認可、水質基準の策定等に係る事務に関する権限が厚生労働大臣から国土交通大臣及び環境大臣に移管されることから所要の規定の整備を行うものであり、原案を可決しました。

議案第35号 教育長の任命について

教育長の辞職（令和6年3月31日）に伴い、川中 尚（かわなか たかし）氏を任命することに同意しました。

請願第1号 大阪・関西万博の中止を求める意見書提出に関する請願書

請願者 八幡市民を守る会

代表 海堀洋義 他49名

請願項目 大阪・関西万博の中止を求める意見書を提出してください。

審議結果

不採択

請願第2号 世界保健機関（WHO）に係る情報開示を求める意見書提出に関する請願書

請願者 八幡市民を守る会

代表 海堀洋義 他38名

請願事項 国に対して、世界保健機関（WHO）に係る情報開示を求める意見書を提出してください。

審議結果

不採択

令和6年度

予算特別委員会を設置

各会計の予算を集中審査

（詳細は17～18頁に掲載）

委員は次のとおりです。

（敬称略） ◎委員長 ○副委員長

◎山田 芳彦 ○太田 克彦

寺田 圭佑 南本 晃

横須賀生也 大野 裕美

澤村 純子 山本 邦夫

意見書案

意見書案第1号 緊急防災・減災事業債の期間延長及び一層の充実を求める意見書案

要 旨

地方自治体にとって極めて重要なつ有利な財源である緊急防災・減災事業債を令和8年度以降も継続すること、恒久的な制度とすること、地域の実情に応じ一層の制度拡充を図ることを強く要望する。

審議結果 Ⅱ 原案可決

議員提出議案

議員提出議案第1号 八幡市議会議員の請負の状況の公表に関する条例案

要 旨

議員に係る請負に関する規制が緩和されたことに伴い、透明性を確保し、議会運営の公平性及び事務執行の適正を図るため、議員の市に対する請負の状況を公表すること等について必要な事項を定めるものです。

審議結果 Ⅱ 原案可決

本会議での討論

議案第1号「令和6年度八幡市一般会計予算案」の討論

●澤村純子議員が反対討論

平和首長会議への参加表明、子どもの医療費18歳までの無料化など一歩前進する内容は評価するものの、物価高騰・年金切下げの中での国民健康保険料、介護保険料、後期高齢者医療保険料の値上げ、公立の就学前施設がない空白地域を生み出すこと、四季彩館の赤字補填、不公正な同和事業の温存、個人情報情報の取扱いなどに同

意できないことから反対します。また、議案第4号から第6号も同様の理由から反対します。

●太田克彦議員が賛成討論

今、八幡だからこそできる成長を掴むまちづくりを実現し、その成長の果実を市民生活の充実として分け合う市政運営を目指し、「チームやわた」で一丸となつて取り組む表明をされ、物価高騰等の厳しい情勢のもと、限られた財源を工夫し、第5次八幡市総合計画の実現や目指すべき将来都市像の構築に向けて6つの重点分野に積極的に投資されており、積極的で機動的な予算編成を高く評価することから賛成します。

議案第13号の討論

●中村法子議員が反対討論

令和6年度からの3年間の介護保険料は第5段階の基準額で改正前の6万6800円から12.3%アップして7万5千円になり24年間で2.3倍です。物価高騰や年金が切り下げられる中での介護保険料の値上げで市民の暮らしが脅かされることから反対します。

議案第22号の討論

●巖博議員が反対討論

厚生労働省が長年にわたつて蓄積した水を守るための知識や経験が国土交通省に受け継がなければ公衆衛生における人権である水について守り抜いてきたものが脅かされ、民営化への歯止めが力が大きく損なわれる可能性があることから反対します。

請願第1号の討論

●岡本美徳議員が賛成討論

大阪・関西万博を開催するよりも、今苦しんでいる国民を助けるために能登半島地震からの復興復旧を最優先とすべきだとも考えることから賛成します。

請願第2号の討論

●岡本美徳議員が賛成討論

パンデミック条約の締結と国際保健規則の改正は国民の権利や生活に大きく関わる可能性があります。が、国民に情報が開示されていません。重要な情報を開示し、共有することは民主主義の根幹と考えることから賛成します。

代表質問項目一覧

新風会

南本 晃 議員

- ・子育て世代の負担軽減について
- ・全ての世代が健康でくらしやすいまちづくりについて
- ・活力と魅力あふれるまちづくりについて
- ・新たな財源確保について

日本維新の会八幡市議会議員団

寺田 圭 佑 議員

- ・ともに支え合う「共生のまち やわた」について
- ・子どもが輝く「未来のまち やわた」について
- ・誰もが健康で幸せな「健康のまち やわた」について
- ・自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」について
- ・しなやかに発展する「活力のまち やわた」について
- ・持続可能な「安心・安全のまち やわた」について

共生クラブ

福田 佐世子 議員

- ・ともに支え合う「共生のまち やわた」について
- ・子どもが輝く「未来のまち やわた」について
- ・しなやかに発展する「活力のまち やわた」について
- ・持続可能な「安心・安全のまち やわた」について

市政を問う

令和6年第1回定例会では、市長の施政方針に対して、2月29日、3月4日・5日の3日間にわたり各会派の代表者が代表質問、その他の議員が一般質問を行いました。代表質問の質問項目は左記に掲載しています。また、一般質問の質問項目は11頁に掲載しています。なお、5頁～13頁に、質問と答弁の一部要旨を掲載しています。

会議録の閲覧を!

検索サイトで **八幡市議会 会議録** を入力して **検索**



会議録検索システム
QRコード

市議会だよりは、紙面の都合で質問の一部を掲載しています。詳しくは、閲覧コーナー（市役所2階）や市民図書館に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも閲覧できます。

第1回定例会の会議録は6月上旬（インターネット）は6月中旬）から閲覧できます。

インターネットでも閲覧できます

山本 邦夫 議員

日本共産党八幡市議会議員団

- ・平和行政について
- ・非正規職員の待遇改善について
- ・子育て支援について
- ・安心できる医療・介護について
- ・上下水道事業について
- ・買い物・中小企業支援について
- ・公共交通の充実について
- ・住民の声を生かしたまちづくり、市政運営について

自由民主党八幡市議会議員団

山田 芳彦 議員

- ・ともに支え合う「共生のまち やわた」について
- ・子どもが輝く「未来のまち やわた」について
- ・誰もが「健康」で「幸せ」な「健康のまち やわた」について
- ・自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」について
- ・しなやかに発展する「活力のまち やわた」について
- ・持続可能な「安心・安全のまち やわた」について

市議会を傍聴してみませんか



本会議は誰でも自由に傍聴することができます。本会議の当日、市役所6階の議会事務局までお越しいただき、傍聴人受付票に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。

なお、本会議場の傍聴席にはヒアリングループを設置しており、受信機の貸出しもこなっておりますので、必要な方は議会事務局までお問い合わせください。

問い合わせ先 議会事務局

☎ 075(983)5532 (直通)

代表質問

市長公約について



新風会
南本 晃 議員

Q 安心して子育てできる支援・相談体制の充実について、市長が考える安心して子育てできるまちとは。また、子育てしやすいまちを実現するために、さらに充実すべきと考えておられることは。

A 川田市長 子育て世代が安心して生活し続けるために、私自身がリーダーとして、子育てに寄り添う姿勢を示し、子育て世代の精神的・経済的負担感の軽減に取り組むことが重要であると考えます。また、今後の充実に向けては、「子育てが楽しい」と思える妊娠・出産・子育て世代の多様な幸せの向上と子育てしやすいまちの実現に向け、様々な支援施策に取り組みたいと考えています。

Q 移動しやすい公共交通の充実について、本市の現状を踏まえ、今後、地域公共交通会議の場において、市として

どのような方向性を示され、協議を進めていただかれるのか。

A 川田市長 本市全体の地域公共交通をどう組み立てていくかという視点に立って、基幹となるコミュニティバスを極力維持しながら、コミュニティバスの行き届かない地域については、デマンド交通や様々な交通手段導入の可能性も含め、研究、検討します。

Q 防災・安心安全のまちづくりについて、市長が考える防災・安心安全のまちとは。今後、八幡市を防災・安心安全のまちとするため、どのような施策が必要であるとお考えか。

A 川田市長 防災・安心安全のまちとは、子どもから高齢者まで不安を感じることなく安心して暮らせるまちと考えています。これまでの施策を充実させるとともに、更な

る内水排除対策として吉野遊園への雨水地下貯留施設の整備や安全な歩行空間の確保に向け、まずは、市道野神線の歩道整備や放生川踏切道の改良を進めます。

Q 産業振興ゾーンなどへの企業誘致については、行政が将来の都市像を描きながら一定責任を持って行うべきと考えるが、市のお考えは。

A 川田市長 工場用地造成や立地企業誘致に市が主導的な立場で、戦略をもって計画的に進め、強い産業集積を図ることが理想と考えますが、本市では近年、活力ある企業を誘致できる一定規模のまとまった用地がない状況から、まずは、産業振興ゾーンを設定し、誘致対象を「製造業」と「物流」に絞り、民間投資を呼び込む形で企業誘致を進めようとしています。

Q 八幡の「玄関口」石清水

八幡宮駅前開発について、現時点での市長の思い、お考えは。

A 川田市長 駅前広場や街並みを整え、商業施設や業務施設などの集積を図り、駅利用者を楽しみ、交流する空間を創出する必要があると考えます。まずは、専門家や関係者の意見を踏まえて、駅周辺を広く俯瞰した目指す将来像を描いていきたいと思います。

Q まちづくりにおいて地元商店街の活性化をどのように考えておられるのか。また、活性化するための方策は。

A 川田市長 住民の高齢化が進み、行動範囲が狭くなることから、これからの商店街は、地域コミュニティとして交流の場となること、活性化に繋がるものと考えます。方策については、商工会とも連携し、既存店舗への販促イベント支援

や、新規出店者への支援などに取り組みたいと考えています。

Q ふるさと納税の強化について、今後強化するための方策は。

A 川田市長 年々、返礼品等に関する総務省の基準が厳しくなっているが、吉兆松花堂店と連携した返礼品など、「ヤワタカラ認定品」の更なる活用をはじめ、近年人気が高まっている「いちご狩り」など体験型の返礼品の造成についても検討していきたいと考えています。



代表質問

令和6年度施政方針について
川田新市長に問う日本維新の会
八幡市議会議員団
寺田 圭佑 議員

Q 誰もが安心して暮らせるやさしいまちづくり、「ともに支え合う共生のまちやわた」から伺います。障がいをお持ちの方も含めた全ての人のために、「生き生きと活躍できる」これが人が元気に生きていく上では非常に大切な支援であると、我々は考えています。「生き生きと活躍できる」「夢や仕事を持って生活を送る」という点において、本市の現状を市長としてどうお考えでしょうかお聞かせください。

A 川田市長 障がいの有無にかかわらず、生き生きと活躍できる社会の実現は大切なことです。現在、八幡市内には通所型の障がい福祉サービス事業所が13か所あり、障がいのある方がそれぞれ自分の障がい合った福祉的就労等を行い、生きがいを持つて生活を送ることができるよう事業を展開していただいています。

Q 自然と歴史が文化を織りなす「観幸のまちやわた」から伺います。淀川舟運は八幡市の新たな入り口となります。京都府とも連携し、様々なイベントも考えられています。陸の入り口である石清水八幡宮駅周辺までを含めた計画が必要であると考えます。大阪からの水路・陸路両方の入り口である淀川河川公園背割堤地区から石清水八幡宮駅周辺の再開発、どのような理想形を持って計画されているのかお聞かせください。

A 西村副市長 令和5年8月に国土交通省から八幡市かわまちづくり計画の認定を受けたところです。民間事業者等によるイベント等の誘致に加え、水辺のにぎわいを創出するため、国においては既存船着場やその周辺の整備、親

水護岸等の整備、市においては手洗い場等の整備などのハード事業についても検討しているところです。

Q しなやかに発展する「活力のまちやわた」から伺います。新名神高速道路開通に合わせた基本計画があまりにも外へ外へと向かっており、既存の市内事業者の方へあまり目が向いていない気がしてなりません。国・府との連携で外から手を加えるばかりでなく、既存の市内事業者の方々との連携が大きな力になってくるのではないのでしょうか。

A 川田市長 市内事業者を盛り立てるということについては、当然のことながら大事なことであり、認識しています。既に事業への補助制度や融資支援など様々な政策に取り組ませていただいているところですが、先日も商工業振興懇話会というものを開催し

まして、産業振興等については協議を重ねさせていただきました。引き続き市内事業者を盛り立て、活力あるまちづくりを推進したいと考えています。

Q 市政運営の所信では市外に移りたい理由の上位には治安への不安が上がっているとされています。過去10年間で本市における刑法認知件数は3分の1まで減少してはいるが、治安への不安の声は上がっており「安心・安全のまちやわた」についてどうお考えかお聞かせください。

A 川田市長 安心・安全なまちづくりについては、子どもから高齢者の方々まで不安を感じることなく、安心して暮らしていけるまちであると考えています。

Q 治安への不安が上がっている現状を受け、本市としては何か取り組まれてきました

でしょうか。また、川田新市長体制となった今、治安への不安に対し、これからの取組は何か検討されていますか。お聞かせください。

A 総務部長 八幡警察署を中心とした市民ぐるみの地域防犯力向上を目指し、啓発、防犯、ボランティア活動の活動に取り組んできました。今後も、自治会をはじめとし、市民の皆様と協働したまちづくりや地域ぐるみでの犯罪被害の抑制に引き続き取り組むこととしています。



背割堤の船着場周辺

代表質問

令和6年度川田市長の
施政方針について共生クラブ
福田 佐世子 議員

Q 物価高騰の中で、栄養士の立てた献立の質と量を低下させることなく、おいしい学校給食を提供するために大変ご努力いただいています。児童・生徒の適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図りながら無償化を進めるとのことですが、取組内容をお聞かせください。

A 川田市長 文部科学省の学校給食摂取基準を確保しつつ、安心・安全でおいしく魅力のある八幡の給食を維持していくため、給食費を小学校280円、中学校330円に改定し、子育て世代が安心して生活し続けられるよう経済的な負担軽減を図るため、学校給食費の保護者負担額の約4分の1を軽減し、無償化を段階的に進めます。

学校に校内支援センターを整備することですが、令和5年第4回定例会でご提案させていただいたことを早々に実現していただき、非常に期待しています。この事業の目的、狙いをお聞かせください。

A 小橋教育長 落ち着いた空間で学習、生活できる環境を学校内に整備し、不登校生徒の個々の学びをきめ細かく行い、社会的自立に向けた支援を行うことを目的に実施するものです。教室での支援、校内教育支援センターでの支援、教育支援センターでの支援と、個々の生徒の状況に応じて重層的に支援を行うことができます、誰ひとり残されない学びの保障を提供できるようにしたいと考えています。

Q 地域公共交通会議が設置され、公共交通サービスが充実し市民の利便性が向上するものと期待していましたが、本市では減便や路線の廃止が相次いでいます。また、公共交通事業者は利用者減少による採算性の問題や運転手不足、2024年からの自動車運転業務の労働時間等の基準改正で厳しい状況に直面されています。公共交通は、持続可能なまちづくりと市民生活に深く関わる重要な問題であり、検討に緊急性を要する時期になっています。本市の公共交通について、どのような思いで取り組まれる決意なのかお聞かせください。

A 川田市長 これまで路線バスを基幹とし、路線バスが通らない交通空白地をコミュニティバスが補完することににより地域の皆様の移動手段を確保することで、公共交通の維持、充実を目指してきました。しかし、これまでどおりの方法では対応が難しくなってきたと認識しています。

今回、コミュニティバスやわたのルート・ダイヤ再編に加え、デマンド交通等の新たな交通手段の導入を含め、検討することとしました。本市全体の公共交通をどう組み立てていくかという視点に立って取り組むたいと考えています。

A 川田市長 企業誘致に必要な土地利用転換に伴い、農地は一定量減少していきますが、一方で、守るべき農地は守りながら、まずは産業として継続していける農業の育成や次代の担い手確保に向けた戦略の策定を進めていくことが肝要であると考えています。担い手認定農家の方々との対話を重ねながら、農地の集積、集約、整備を進めるとともに、生産性の向上、高付加価値化などの農業振興施策を推進し、持続可能な農業を推進、確立していくことで、企業誘致との両立を図りたいと考えています。



八幡小学校の給食

代表質問

川田市長の施政方針に関し、
六つの柱に則して伺う公明党議員団
太田 克彦 議員

Q ① 「共生のまち」では、

一つに「核廃絶・核軍縮」に
関して市長の平和に対する姿
勢について、二つに「外国人
住民との共生」について、三
つに、何時誰が認知症になっ
ても当事者や家族等が安心し
て暮らせる取組について、四
つに「改正障害者差別解消法
施行」を受け、企業や店舗な
ど民間事業者への、合理的配
慮の周知啓発について質問し
た。この中から「核廃絶・核
軍縮」に関して、市長の平和
首長会議への加盟について、
高く評価するとともに加盟に
向けた思いと時期を伺う。②

未来戦略加速化プラン」で、
妊娠期からの切れ目の無い支
援に繋げる為の制度の周知に
ついて、「誰でも通園制度」
の創設による、市の2歳児向
けプレ保育導入の内容につい
て、二つに「不登校への支
援」として「スペシャルサ
ポートルーム」の整備の内容
について、三つに「給食費負
担軽減」として、完全無償化
に向けての考えについて質問
した。その中から「2歳児向
けのプレ保育」に関して事業
内容を伺う。③ 「健幸のま
ち」では、一つに、がん治療
に伴う外見の変化による苦痛
を和らげる「アピアランスケ
アの助成制度創設」の内容等
について、二つに「難聴児者
支援」に関して、現在取り組
まれている制度の周知と加齢
性難聴への補聴器購入助成の
考えについて、三つに「子育
て医療助成」の通院医療費の

対象を18歳の年度末まで拡充
の制度の周知と完全無償化へ
の考えについて質問した。そ
の中から「がん患者支援のア
ピアランスケア助成制度」の
内容とスケジュールを伺う。
④ 「観幸のまち」では、一つ
に「観光の視点からの空き家
対策」について、二つに「宿
泊施設の整備」について質問
した。その中から「宿泊施設
の整備」に関して、観光消費
額の増加や市の活性化には宿
泊施設の誘致が必要と考え、
市の見解を伺う。⑤ 「活力の
まち」では、一つに「石清水
八幡宮駅周辺整備」について、
二つに「橋本駅周辺整備」に
ついて、三つに「新たな交通
手段導入」について質問した。
その中から「新たな交通手
段」について、市の考える交
通手段等について伺う。⑥
「安心・安全のまち」では、
一つに「罹災証明の迅速な発

行」について、二つに「気象
防災アドバイザー」の導入に
ついて、三つに「ふるさと納
税」について、四つに「おく
やみコーナー設置」について
質問した。その中から「おく
やみコーナー」について内容
を伺う。

A 川田市長

① 平和首長会

議への加盟に関して、「核兵
器の廃絶、戦争の無い平和な
世界は人類の悲願であると思
っています。加盟の時期に
ついては、令和6年度の予算
案をご可決いただいた後に、
4月早々から加盟の手続きを
したいと考えています。

A 小橋教育長

② 未就園児

が幼稚園生活の一部を体験す
る為の取組として、各園に専
用の部屋を設け、週2回1日
2時間程度の保育時間を確保
し、保育料は無償で実施を予
定しています。

A 川田市長

③ 京都府内



初めてとなる、がん患者補装
具購入助成事業（アピアラン
スケア助成）を実施する予算
を計上しました。4月1日以
降に購入されたウィッグや人
口乳房等の補装具の購入費用
を助成するものです。④ 宿泊
施設は観光客の滞在時間を伸
ばし、観光消費額の増加や観
光産業の強化に効果をもたら
すと考え、まずは幅広い観光
需要を喚起する政策から取り
組む必要があります。⑤ デマ
ンド交通やライドシェアなど
様々な取組があり、運行形態
や条件、地域や運賃をどうす
るのかなど、地域公共交通会
議の場で議論いただくことに
しています。⑥ 6月を目途に
開設を進めたいと考えていま
す。

代表質問

ムダづかいにメス入れ、
暮らしを守る市政を

日本共産党
八幡市議会議員団
山本 邦夫議員

Q 市長が平和首長会議への加盟を表明されたことは喜ばしく思います。もう一つの未加盟自治体・佐世保市に加盟を呼びかけてはどうですか。

A 川田市長 平和首長会議については首長それぞれの考えがありますので、他市への加盟呼びかけはしません。

Q 八幡市は18歳、22歳の青年男女の名簿を自衛隊に提供しています。個人情報保護の観点から、本人の希望があれば、自身の名簿を自衛隊への名簿から外す除外申請を制度化すべきです。市の考えをお聞かせください。

A 西村副市長 自衛隊への情報提供について、調査や情報提供を望まない方を対象から除くことを定めた法令がないため、自衛隊への情報提供から除外する申請制度は検討していません。

Q 防災対策で、能登半島地

震の教訓に学ぶことが大切です。今も避難所生活が続く、八幡市はじめ各地の自治体が尽力することが必要です。石川県への支援の経験を、市の防災対策に生かすことが大切ではないですか。

A 西村副市長 石川県七尾市で、職員が被災地の現状を直接見て、避難所運営に携わりました。その経験を市の避難所運営に生かしたいと考えています。

Q 一般会計予算からの財源投入で学校給食費の25%を軽減します。さらなる負担軽減、給食費の無料化に向け、市は、国と府にどう働きかけますか。

A 西村副市長 学校給食費無償化について、京都府と連携し、支援を求めていくこととしており、府に向けて予算要望で支援を求めています。

Q 介護保険料は、3月議会の条例改正案によると12・

3%値上げ、年額7万5000円です。ほかに、国民健康保険料、後期高齢者医療の保険料も値上げされると聞いています。国民健康保険料は、4人家族で所得200万円の世帯で39万5140円。10・9%の値上げです。後期高齢者医療は7・8%値上げで、9万3158円になります。負担軽減のために市はどのような努力をされましたか。

A 健康福祉部長 国民健康保険料は、基金を1億円繰り入れる予算を議会にお願いしています。後期高齢者医療保険では、健康づくりやフレイル予防などの事業に努めています。介護保険料では、保険料の低減のため1億2000万円、基金を活用することなど、保険料上昇の抑制を図る考えです。

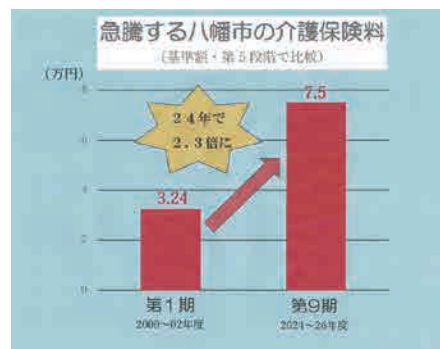
Q 水道料金を2億円規模で値上げして2年目です。能登

半島地震で、輪島市、珠洲市などでの上下水道の管路などの被害が深刻です。料金負担をベースに進める企業会計では、大規模災害に備える施設、管路の対策に費用がかかり、防災対策上、遅れをもちます。大規模災害時、国が主導して財政面を支え、都道府県・市町村の役割分担が大事です。上下水道の公的資金の投入について、市はどう考えていますか。

A 川田市長 水道事業や下水道事業は公営企業ですので、経営に伴う収入をもって充てなければならぬと規定され、独立採算が求められます。平素から上下水道施設の耐震化については、政府の繰出基準に基づき出資金や国庫補助金を活用し事業を進めています。

Q 流れ橋交流拠点・四季彩館では、市の年間の赤字補填が1900万円です。事業を

見直し、廃止を含む検討、事業の大幅縮小を問題提起してきました。事業開始時点で、八幡市は市から持ち出しはしないと繰り返し表明されました。予算案で、指定管理料は1500万円です。今年度に比べ22%の減額です。指定管理料の見直し内容を教えてください。



代表質問

令和6年度施政方針について

自由民主党
八幡市議会議員団
山田 芳彦 議員

Q 堀口前市長は一貫して市民協働とともに子育ての八幡市との思いを前面に打ち出し、

取組を進めてこられました。前市政からの路線継承、さらなる発展を目指すという意味でも、子育てへの投資は、すなわち、次代を担う人材への投資であり、かつ本市の持続ある発展、未来を切り開いていくための投資であると言えます。今日、子育て世代のご家庭における出産及び子育てに関する不安材料とは何なのか。併せて、基礎自治体としての行政がどこまで、子どもを持つていただくことと併せて子育てに関与できるものとお考えでしょうか、ご見解をお聞かせください。

A 川田市長 家庭における出産や子育ての不安材料としては、子どもの病気や発育、発達、食事や栄養、育児方法やしつけ、子育てに係る

経済的負担など、その内容は多岐にわたるものと考えています。また、結婚や出産、子育てに対する価値観やライフスタイルには、行政として直接関与することは望ましくなく、子育ての中心はあくまでも各家庭にあると考えています。行政の立場としては、各家庭が抱えるこれらの不安を少しでも軽減するため、このたびの当初予算案において学校給食の段階的な無償化や子育て支援医療費の拡充をはじめ、1か月健診、産後ケアなどの母子保健事業や預かり保育、プレ保育などの保育サービスの面において支援、充実を図るための関係経費を盛り込んだところです。

Q 明田市長当時から計画的に整備を始めていただきました市内小・中学校教室における空調設備が、そろそろ更新の時期を迎えるのではないで

しょうか。言うまでもなく、適切な水準にまで高めていただいた子どもたちにとって望ましい学習環境については、少なくとも現状を維持していただくかなければなりません、この件について、市教育委員会の認識とご見解をお聞かせください。

A 小橋教育長 学習環境の維持において空調設備の役割は大変重要である一方、近年一部で故障もあり、早期に更新計画を立てる必要があると認識しています。体育館の空調設備やトイレの大規模改造など学校施設の環境整備については、八幡市学校施設長寿命化計画に基づき進めています。同計画の実施計画案は令和7年度までとなっており、その中には教室の空調更新は含まれていません。次期実施計画案において、施設のお朽化の再点検や新たな施設整備

のニーズの検討も含め、整備の優先度を見直す必要があると考えており、その中で教室の空調更新も適正な時期に行えるよう同計画を改定したいと考えています。

Q 新名神高速道路八幡京田辺・高槻区間について、現時点での開通に向けての進捗状況と今後の見通しをお聞かせください。

A 西村副市長 新名神高速道路八幡京田辺・高槻区間の進捗状況ですが、用地取得率は、令和5年12月末時点において面積ベースで98%で、枚方トンネルの掘削シールドマシンの工場製作が完了し、現在トンネル掘削に向けた組立て作業を進めるための準備工事を行っているところであり、令和9年度の開通を目標とされていると、西日本高速道路株式会社からは伺っています。

線については、京都府が計画4車線のうちの2車線の早期供用を目指し、取組を進めておられます。もちろん大阪府サイドとの緊密な連携が必要であることも承知しています。そこで事業の現状と見通しをお聞かせください。

A 西村副市長 都市計画道路内里高野道線の進捗状況ですが、全ての用地取得が完了し、新名神高速道路の開通時期と併せ、令和9年度の供用が目標であると、京都府山城北土木事務所から伺っています。



川田市長登壇の様子（令和6年第1回定例会）

一般質問項目一覧

中村 法子 議員

・男山地域のまちづくりについて

田邊 晴美 議員

・防災対策について
・復興支援について

横須賀 生也 議員

・自治会組織について

澤村 純子 議員

・視覚障害者にやさしい交差点、信号機の改善について

巖 博 議員

・木造住宅耐震改修助成制度について

中村 正公 議員

・補聴器購入助成について

岡本 美德 議員

・教科書採択選定などについて
・教科書採択の透明性・公平性について

山口 克浩 議員

・災害に向けた取組について



男山団地のエレベーター増設・
地域医療福祉拠点化充実

日本共産党八幡市議会議員団 中村 法子 議員



Q 歩行が困難な方などへの配慮として、UR都市機構のエレベーター設置や、1階ベランダ側の車椅子用昇降機の増設などバリアフリー化の役割や必要性について市長の考えを教えてください。

A 川田市長 バリアフリー化については、地域医療福祉拠点の強化とともに居住環境の改善につながる取組であると考えています。

Q 継続的なエレベーター設置や車椅子用昇降機設置等の計画を立てることが必要だと思いますか。

A 建設産業部長

様々な要件を踏まえ、URにおいて検討すべきだと考えます。

Q 地域医療福祉拠点化の柱の一つ、若者世

帯や子育て世帯が集まる子育てしやすいまちづくりのため、市の役割として何をするべきか教えてください。

A こども未来部長 母子保健や医療体制の充実、多様な保育サービスやゆとりある教育環境の整備、子育てに関する経済的負担の軽減など総合的に進めていくことであると考えています。

男山地域の再生目標
地域とともに元気に暮らしたい男山
住みたい、住みつけたい男山

男山地域再生基本計画より

Q 女性の視点からの防災対策への取組は。

A 理事 令和5年度より危機管理課へ女性職員の配置を行っています。

Q 避難所において、男女共同参画の視点を考慮した設備は。また、ミルクを飲むための哺乳瓶と人口乳首も備蓄して頂きたい。

A 理事 更衣室や授乳スペースとして活用できるテント、オムツ交換台、ダンボール間仕切りなど備蓄している。哺乳瓶と人口乳首は個人による備蓄の啓発を行っています。

Q 女性防災士を増やすための取組は。

A 理事 自主防災推進協議会に女性の防災士資格取得への協力を依頼したいと考えます。

Q 長町を含む飛び地の避難所について、本市の考えは。

A 理事 三川による水害が予想される場合には、京都京阪バス（株）と連携したバスによる住民の避難を計画しています。

Q 新庁舎の広いエントランスで能登半島地震復興応援イベントを行っては。

A 建設産業部参与 関係団体から相談などがあれば積極的に協力したいと考えます。

防災対策について

公明党議員団 田邊 晴美 議員

防災対策について



Q 女性の視点からの防災対策への取組は。

A 理事 令和5年度より危機管理課へ女性職員の配置を行っています。

Q 避難所において、男女共同参画の視点を考慮した設備は。また、ミルクを飲むための哺乳瓶と人口乳首も備蓄して頂きたい。

A 理事 更衣室や授乳スペースとして活用できるテント、オムツ交換台、ダンボール間仕切りなど備蓄している。哺乳瓶と人口乳首は個人による備蓄の啓発を行っています。

Q 女性防災士を増やすための取組は。

A 理事 自主防災推進協議会に女性の防災士資格取得への協力を依頼したいと考えます。

Q 長町を含む飛び地の避難所について、本市の考えは。

A 理事 三川による水害が予想される場合には、京都京阪バス（株）と連携したバスによる住民の避難を計画しています。

Q 新庁舎の広いエントランスで能登半島地震復興応援イベントを行っては。

A 建設産業部参与 関係団体から相談などがあれば積極的に協力したいと考えます。

男山地域の再生目標
地域とともに元気に暮らしたい男山
住みたい、住みつけたい男山

男山地域再生基本計画より

Q 女性の視点からの防災対策への取組は。

A 理事 令和5年度より危機管理課へ女性職員の配置を行っています。

Q 避難所において、男女共同参画の視点を考慮した設備は。また、ミルクを飲むための哺乳瓶と人口乳首も備蓄して頂きたい。

A 理事 更衣室や授乳スペースとして活用できるテント、オムツ交換台、ダンボール間仕切りなど備蓄している。哺乳瓶と人口乳首は個人による備蓄の啓発を行っています。

Q 女性防災士を増やすための取組は。

A 理事 自主防災推進協議会に女性の防災士資格取得への協力を依頼したいと考えます。

Q 長町を含む飛び地の避難所について、本市の考えは。

A 理事 三川による水害が予想される場合には、京都京阪バス（株）と連携したバスによる住民の避難を計画しています。

Q 新庁舎の広いエントランスで能登半島地震復興応援イベントを行っては。

A 建設産業部参与 関係団体から相談などがあれば積極的に協力したいと考えます。

男山地域の再生目標
地域とともに元気に暮らしたい男山
住みたい、住みつけたい男山

男山地域再生基本計画より

Q 女性の視点からの防災対策への取組は。

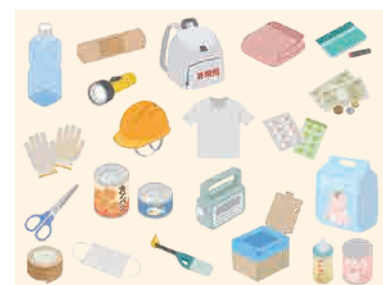
A 理事 令和5年度より危機管理課へ女性職員の配置を行っています。

Q 避難所において、男女共同参画の視点を考慮した設備は。また、ミルクを飲むための哺乳瓶と人口乳首も備蓄して頂きたい。

A 理事 更衣室や授乳スペースとして活用できるテント、オムツ交換台、ダンボール間仕切りなど備蓄している。哺乳瓶と人口乳首は個人による備蓄の啓発を行っています。

Q 女性防災士を増やすための取組は。

A 理事 自主防災推進協議会に女性の防災士資格取得への協力を依頼したいと考えます。



自治組織団体について

自由民主党八幡市議会議員団 横須賀生也 議員



Q ①自治組織団体へ

の加入率減少対策と、役員のなり手不足克服について、本市はどの様に考えますか。②最新の自治組織団体への加入率は67・6%で、本市は目標値を令和9年度に73%としていますが、どの様な手段や段階を経て達成しようと考えていますか。

A 政策企画部担当理

事 ①会議の方法、役割分担、デジタル化の検討等の環境づくりや、外国人住民への加入促進など、運営手法をご検討頂く事が必要になってくると感じており、市も事務局として一緒に考えていきたいと思っています。自治連合会においても議論のテーマになっており、引き続き自治連合会と

協議を行い、現状認識

に努め、課題解決及び活動充実に向けた手法を模索していく必要があると考えています。

②これまでから外国人住民も含めて加入促進に努めて頂いており、デジタル媒体の活用等も検討頂き、若い世代の方々も担い手として活動しやすいよう、各地域に合った組織運営をして頂いて、加入率のアップをお願いできればと思っています。



自治連合会主催の安全・安心のまちづくりパレード

視覚障がい者にやさしいまちを

日本共産党八幡市議会議員団 澤村純子 議員



Q 「音響式信号機が

なければ安心して道路を横断できません」視覚障がいの方の意見を踏まえた上で、京都府と協議されましたか。

また、障がい者地域生活支援協議会、視力障

がいの方、家族への聞き取り調査などはされましたか。

A 福祉事務所長

京都府との協議は行っておりません。聞き取りについては、八幡市障がい者地域生活支援協議会くらし支援部会出席者に対して行いました。八幡市障がい者計画、第7期障がい福祉計画等の策定に当たり、当事者団体、支援団体にヒアリングを実施しました。

Q 誰もが安全に横断できる音響式信号機等

の環境整備が必要です。

市はどのように考えておられますか。また、音響式信号機の設置についてこれからどうしていけますか。

A 建設産業部長

市として、信号機に限らず、安全な歩行環境を確保できるよう様々な取組を行っており、今後も設備の設置も含め、関係機関と連携したいと考えています。音響式信号機については、京都府公安委員会が整備、管理しています。設置については公安委員会において総合的に判断されています。



能登半島地震に学び、木造住宅の耐震化を

日本共産党八幡市議会議員団 巖博 議員



Q ①本市では木造住

宅耐震改修、本格改修に今年度助成額を増額されますが、京都市や珠洲市は、既に独自に木造住宅耐震改修補助額を上乗せしています。市民のみなさんは、物

価高や資材等の値上がりで、木造住宅の耐震化等になかなか踏み出せない状況です。市として独自に補助額を上

乗せ、拡充する考えはありませんか。②現在の木造住宅耐震化改修では、1981年5月以前に建てられた家までが対象です。せめて昭和64年（1989年）まで拡充すべきではありませんか。

A 建設産業部長

①市内の住宅耐震化率は約94%で、目標に対し順調に推移しています。

京都府の制度拡充と足

並みを合わせ、耐震化を促進します。現時点では、助成額の拡充については考えていません。

②過去の地震では、昭和56年5月以前に建築された耐震性の低い住宅で、大きな被害が確認されています。京都府と協調し、旧耐震基準で建築された住宅の耐震化を優先して取り組みます。新耐震基準による建築物への制度拡充については、現時点で予定していません。



補聴器購入助成制度の創設を

日本共産党八幡市議会議員団 中村正公議員



Q 厚生労働省は令和2年度、全国自治体に対して高齢難聴者の存在を把握するための取組に関する実態調査を行いました。市はどのように回答したのですか。

A 健康福祉部長 本市は回答していません。
Q 厚生労働省の行った調査はすべての自治体に行った悉皆調査です。市は、なぜ回答しなかったのですか。

A 健康福祉部長 P

WCコンサルティング合同会社が国の補助を受けてアンケートの依頼をされているものですので、判断として回答していません。

Q 補聴器購入助成制度は2021年の36自治体から2024年1月で239自治体に急

補聴器助成
実施自治体数の推移

全日本年金者連合会大塚市本部調べ
2021年は厚生労働省資料から

教科書採択選定の公平性・透明性について

無会派 岡本美徳議員



2022年時点で日本の若者の死因第1位は自殺で、小・中学生の自殺者数は過去最多の514人です。若者の自己肯定感は諸外国に比べ極端に低い状態です。大東亜戦争後の教育はWGI PというGHQ占領政策によって、信仰・祖先崇拜・神話教育・修身教育も廃止され歴史・地理教育は改変され教育勅語も排除、自虐史観が植付けられ、教科書も国定教科書から検定教科書へ変わりました。教科書は原則4年ごとの改定で、令和6年度は中学校教科書選定です。

Q ①山城教科用図書採択地区の教科書選択調査員の選任基準と人数は。②山城教科用図書採択地区協議会の委



員の選任基準と人数は。
③直近の教科書採択の状況は、静ひつな環境が100%公正確保されていますか。

A ことも未来部参与

①山城地区の校長・教頭・教諭から、種目ごとに学校現場の専門性のある5名を委嘱しています。
 ②山城地区10の市町・広域連合教育委員会から、教育長と各教育委員会が指名した教育委員1名の合計20名です。
 ③率直な意見が交換できる静ひつな環境と考えています。

防災教育について

無会派 山口克浩議員



Q ①防災教育の現状、専門家との協働について、お聞かせください。

A ことも未来部参与

①防災教育は、健康安全教育の一環として計画的に様々な教科、領域で実施しています。具体的には、防災に関する基本的事項を理解するために、社会科で地域防災の取組や理科で地震や気象などの自然現象について、保健体育科での心身の健康や救急措置などを行っています。また、実践的な態度の育成については、特別活動で避難訓練や社会見学などを通して行っています。
 ②地域住民や専門家と協働した防災教育については、現在、地域在住の国土交通省の河川



こども防災ディキャンプの様子

委員会審査報告

第1回定例会における委員会審査の概要は次のとおりです。

(議案名は20頁の議案・議決結果一覧表を参照)

(注) 報告番号と質問番号は連動しています。

総務常任委員会

(3月6日開催)

八幡市会計年度任用職員の給与その他の給付に関する条例の一部を改正する条例案など3議案を可決

議案第9号・第10号・第11号を審査。

議案第9号では「条例改正による期末・勤勉手当の年間支給月数について」、議案第11号では「法改正の内容の詳細について」「情報連携が可能な事務の内容について」等3件の質疑があり、理事者より答弁がなされました。議案第10号については質疑がありませんでした。いずれも討論はなく、議案第9号・第10号は挙手全員、議案第11号は挙手多数にて原案を可決しました。

付託案件の他の質疑、報告等の質問は次のとおりです。



議会事務局、監査委員・公平委員会事務局、会計課

〈所管事項審査〉

なし

政策企画部

〈議案審査〉

議案第9号 八幡市会計年度任用職員の給与その他の給付に関する条例の一部を改正する条例案

議案第10号 八幡市長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の一部を改正する条例案

議案第11号 八幡市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例案

〈質疑〉

・情報提供ネットワークシステムの内容及び情報漏えいのリスクについて

〈所管事項審査〉

〈報告〉 ①八幡市ホームページのリニューアルについて

②八幡市教育大綱の策定について

③男山地域の持続可能なまちづくりに向けた再調査概要報告書について

〈質問〉

①現タイミングで改修した理由について

②ホームページのアクセス数について

③音声読み上げ機能におけるベトナム語の対応について

④パブリックコメントの結果の反映について

⑤「生涯学習の担い手の確保」の具体的手法について

⑥アンケート回収率をより上げるための工夫について

⑦過去10年間の外国人住民に関する取組の成果及び課題について

⑧だんだんテラスの将来的な方向性について

〈その他〉

クラウドファンディング型ふるさと納税に関する質問あり

総務部、選挙管理委員会事務局

〈所管事項審査〉

〈報告〉 ①トイレカー導入について

〈質問〉 ①緊急時を考慮した小型トイレカーの複数台購入について

②想定する使用可能回数について

③クラウドファンディングにおける返礼品について

〈その他〉

災害用井戸、電子入札に関する質問あり

市民生活部

〈所管事項審査〉

〈報告〉 ①八幡市災害廃棄物処理計画(素案)の作成について

〈質問〉 ①避難所以外での生活ごみの処理に係る自治組織との情報共有について

②災害廃棄物発生量の算出根拠について

③大規模災害発生時の広域連携の体制について

〈その他〉

クビアカツヤカミキリに関する質問あり



文教厚生常任委員会

(3月7日開催)

八幡市子育て支援医療費支給条例の一部を改正する条例案など6議案を可決、請願1件を不採択

請願第2号、議案第12号・第13号・第14号・第15号・第16号・第17号を審査。

請願第2号では、紹介議員への質疑において、「外務省、厚生労働省が積極的に開示しない理由について」「日本がWHOに加盟して以来、日本国憲法が侵害され日本国民生活に重大な影響を及ぼした事例について」「情報公開を求める範囲について」等5件の質疑があり、それぞれ答弁されました。委員より反対討論があり、挙手少数にて不採択と決しました。

議案第12号では「新制度における2024年度の府市の負担割合について」等2件、議案第13号では「介護保険料減額に係る介護保険給付費基金の充当について」、議案第14号では「八幡市指定地域密着型サービス事業、八幡市指定地域密着型介護予防サービス、八幡市指定介護予防支援事業の特徴及び事業の利用対象者について」、議案第15号では「精神障害者保健福祉手帳の等級が1級から2級に変更になった場合の医療費支給について」「精神障害者保健福祉手帳の制度拡充における他の障がいとの整合性について」等6件、議案第16号では「保険料の賦課限度額改定により影響を受ける世帯数について」「保険料7割軽減の対象者が軽減拡充に含まれていない理由について」等4件、議案第17号では「放課後児童支援員の人数及び年齢構成について」「研修の講師及び研修後の試験実施について」等3件の質疑があり、理事者より答弁がなされました。いずれも討論はなく、議案第12号・第14号・第15号・第16号・第17号は挙手全員、第13号は挙手多数にて原案を可決しました。

付託案件の他の質疑、報告等の質問は次のとおりです。

いづれも未来部

（議案審査）

議案第17号 八幡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

（質疑）

・放課後児童健全育成事業における研修内容及び期間について

（所管事項審査）

（報告）①学校給食費の見直しについて

②名勝松花堂及び書院庭園災害復旧事業の経過報告について

（質問）

①給食費公会計化の進捗状況について

②値上げによる年間の増収額について

③令和6年度及び7年度の事業費が急増する理由について

④文化財防災の考え方について

（その他）

少人数学級、保育士の配置基準、複数教員の配置、スタディサポート事業、安全衛生委員会の産業医、健康保険証廃止後の対応に関する質問あり

健康福祉部

（議案審査）

請願第2号 世界保健機関（WHO）に係る情報開示を求める意見書提出に関する請願書

（紹介議員への質疑）

・情報開示を求める文書の具体的内容について

・令和5年第4回定例会で紹介された請願との違いについて

議案第12号

八幡市子育て支援医療費支給条例の一部を改正する条例案

（質疑）

・支給対象における4月1日生まれの方の考え方について

議案第13号

八幡市介護保険条例の一部を改正する条例案

議案第14号

八幡市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例案

議案第15号 八幡市福祉医療費支給条例の一部を改正する条例案

・八幡市福祉医療費支給条例施行により拡充される対象者の人数について

・施行日が令和6年8月1日となる理由について

・精神障がい者への医療支援において京都府が他府県より遅れていた理由について

・近隣自治体の対応について

議案第16号 八幡市国民健康保険条例の一部を改正する条例案

（所管事項審査）

（質疑）

・軽減拡充により影響を受ける対象者数について

・退職者医療制度の対象者が減少している理由について

（所管事項審査）

（報告）①八幡市高齢者健康福祉計画及び第9期介護保険事業計画について

②令和6年度八幡市国民健康保険料率について

③令和6・7年度京都府後期高齢者医療保険料率について

④胃がん検診の胃内視鏡検査導入について

⑤けんしんのお知らせの年2回発行について

⑥出産・子育て応援事業について

（質問）②京都府下における令和6年度の保険料の水準について

④予約及び支払い方法について

⑤胃内視鏡検査導入による効果について

⑤マイナポータルでの検診結果掲載に係る周知について

⑤胃がん、肺がん検診におけるキャンセル件数について

⑥みらいくベビーギフトの進捗状況について

（その他）

介護保険に関する質問あり

福祉事務所

（所管事項審査）

（報告）①八幡市障がい者計画並びに八幡市第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画策定について

（質問）①アンケート調査の対象者数及び回収率について

①当事者団体や支援団体へのヒアリング調査における主な意見について

（その他）

障がい者福祉サービス等報酬改定、生活保護基準額引き下げ処分に係る判決に関する質問あり

建設水道常任委員会

(3月11日開催)

八幡市行政財産の使用料徴収条例等の一部を改正する条例案など7議案を可決、請願1件を不採択

請願第1号、議案第18号・第19号・第20号・第21号・第22号・第23号・第32号を審査。

請願第1号では、紹介議員への質疑において、「能登半島地震と請願提出の関連性について」「万博、IR、被災地支援の優先順位について」等3件、理事者への質疑において、「万博開催に係る市の取組について」の質疑があり、それぞれ答弁されました。討論はなく、挙手少数にて不採択と決しました。

議案第18号では「地下電線の現状について」、議案第19号では「過去5年間の貸付状況及び現在の貸付残高について」「当初の事業目的について」、議案第20号では「政令改正の背景について」「府内における該当施設の設置状況について」等3件、議案第21号では「消防作業従事者、救急業務協力者、水防従事者及び応急措置従事者の業務内容について」、議案第22号では「水道法施行規則の引用について」「厚生労働省から国土交通省及び環境省への移管に係る影響について」等3件、議案第23号では「地域農業経営基盤強化促進計画策定に係り増加する業務内容について」「改正後の報酬額の根拠について」等4件、議案第32号では「柿谷2号線の認定理由及び府から市に移管された時期について」の質疑があり、理事者より答弁がなされました。いずれも討論はなく、議案第18号・第19号・第20号・第21号・第23号・第32号は挙手全員、第22号は挙手多数にて原案を可決しました。

付託案件の他の質疑、報告等の質問は次のとおりです。

消防本部 〈議案審査〉 議案第20号 八幡市消防手数料条例の一部を改正する条例案(質疑)・受領した手数料の会計科目について 議案第21号 八幡市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案 〈所管事項審査〉 〈報告〉 ①能登半島地震に伴う緊急消防援助隊京都府大隊の活動報告について ②令和5年火災救急救助統計の作成について ③京都府南部消防指令センター共同運用実施設計業務の結果等について 〈質問〉 ①救助活動時において危険を感じた事例について ②2回以上派遣された職員数について ③援助活動において困ったこと及び今後の課題について ④昨年の流れ橋の放火に係るその後の対応について ⑤令和5年中の救急車両の出動件数について ⑥大規模災害時における119番通報の回線の充足について ⑦令和6年度からの3年間ににおける事業費及び市の負担額について ⑧総事業費のうち本市の負担額について (その他) 京都府消防救助選抜会に関する質問あり	建設産業部 〈議案審査〉 議案第18号 八幡市行政財産の使用料徴収条例等の一部を改正する条例案 議案第19号 八幡市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例案 議案第23号 八幡市道の路線の認定、変更及び廃止について 〈所管事項審査〉 〈報告〉 ①橋本駅周辺拠点整備事業の進捗について ②木造住宅耐震改修助成事業の制度拡充について ③地域公共交通(コミュニティバス、公共交通マップ)について ④八幡市営住宅等空家入居者募集について ⑤京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合の運営存続期間の延長について ⑥出現した地下埋設物について ⑦現時点での追加費用の見込みについて ⑧耐震シェルターの詳細について ⑨申請件数の見込みについて ⑩公共交通マップの作成に要した費用について ⑪運輸支局への自動車事故報告書の提出について ⑫市に事故が入ったタイミングについて ⑬事業者における再発防止策について	上下水道部 〈議案審査〉 議案第22号 八幡市上下水道給水条例及び八幡市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める条例の一部を改正する条例案 〈質疑〉 ・水道法施行規則の改正予定について 〈所管事項審査〉 〈報告〉 ①能登半島地震に伴う応急給水活動の報告について ②注水拠点における給水車への補給について ③応急給水活動において今後活かせる点について (その他) 有機フッ素化合物に関する質問あり 産業振興室 〈議案審査〉 請願第1号 大阪・関西万博の中止を求める意見書提出に関する請願書 〈紹介議員への質疑〉 ・違約金を考慮した万博中止の判断について 議案第23号 八幡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案 〈質疑〉 ・年間の部会の平均開催回数並びに一人当たり加算額及び総支給額について ・改正後の同基準で支給している近隣自治体について 〈所管事項審査〉 〈報告〉 ①リユース太陽光パネル設置実証事業について ②観光基本計画(素案)に対するパブリックコメントの結果について ③令和5年度文化観光まちづくりに関する取組について 〈質問〉 ①現時点での発電効果及び売電収入について ②新品パネルとリユースパネルの価格差について ③新品パネルとの比較の方法について ④事業に係る費用の内訳について ⑤パブリックコメントの意見の増減について ⑥前回の計画における成果及び課題について ⑦新・空中茶室創造基本構想の進捗状況について ⑧地域・日本の新たなレガシー形成事業における成果物について (その他) やわたフェスタ事業に関する質問あり
---	---	--

令和 6 年度予算特別委員会

令和 6 年度予算特別委員会 各会計予算案を可決

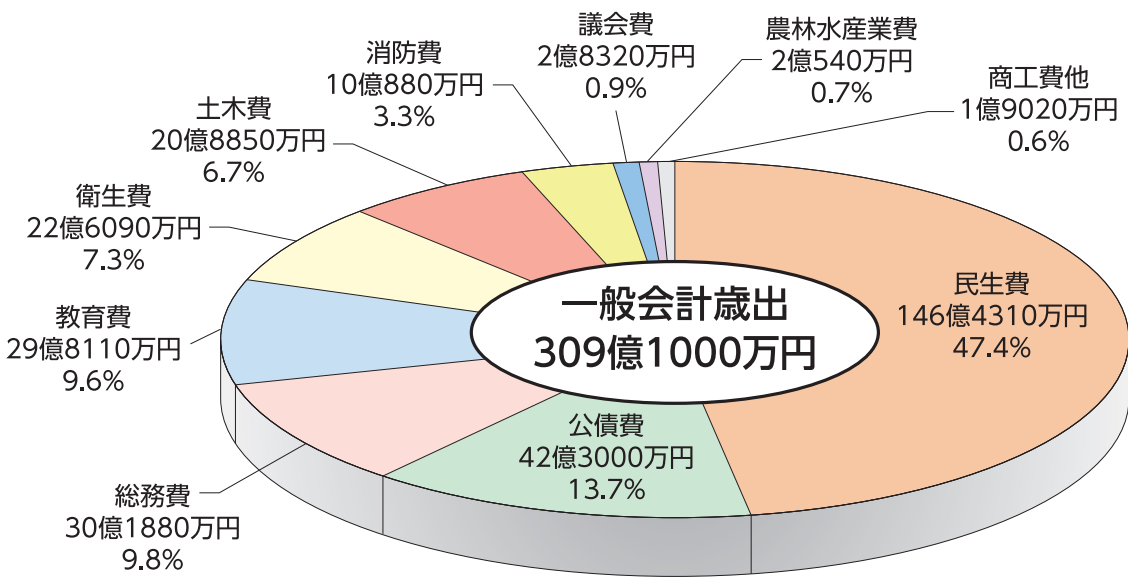
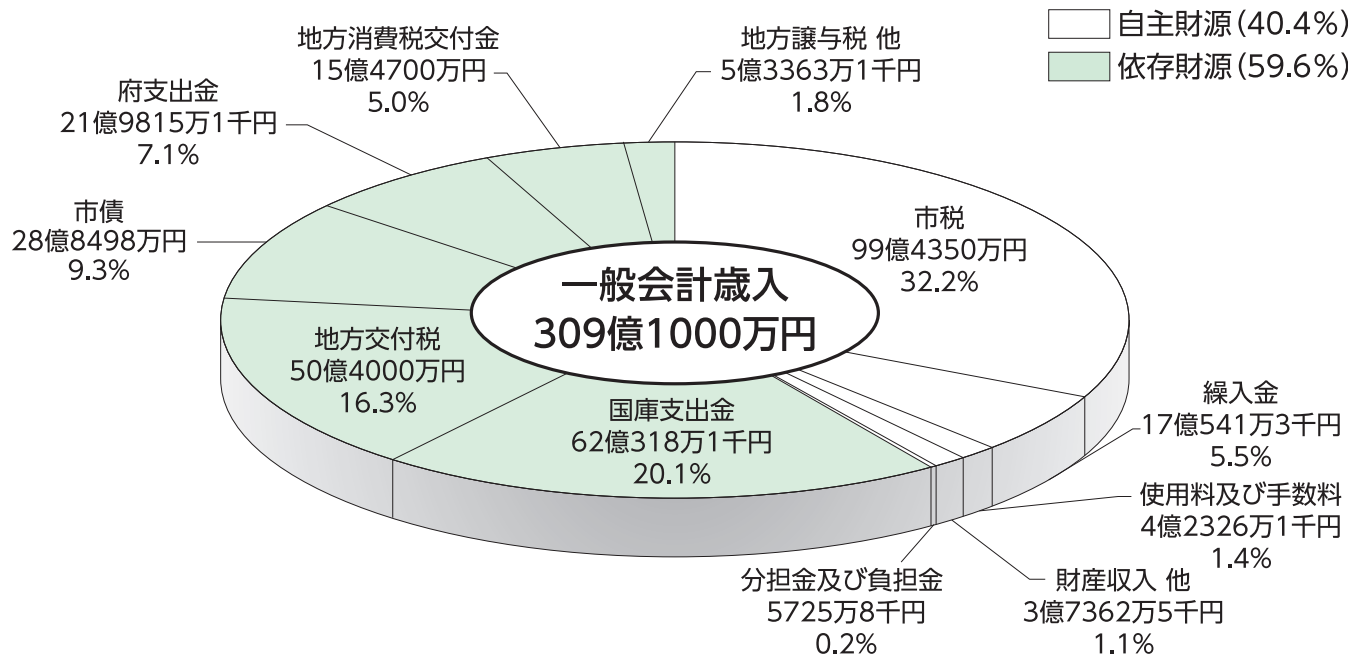
令和 6 年第 1 回定例会の本会議で付託を受けた、令和 6 年度の一般会計、5 つの特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の各予算について、3 月 12 日を初日に 6 日間にわたり審査を行いました。審査では、委員から 412 件の質疑がありました。総括質疑終結後、会計ごとに討論・採決を行いましたが、いずれも討論はなく、採決の結果、原案をすべて可決しました。

なお、質疑事項の一部、一般会計予算の費目別内訳（円グラフ）は、次のとおりです。

	質 疑 事 項		質 疑 事 項
議 事 局	・議会図書購入に係る予算額及び令和 5 年度の購入実績について		
会 計 課	・口座振替データ送受信に係るアンサーデータポート導入後の支障等について ・手数料の増加要因について	消 防 本 部	・水中ドローンの購入を選択した理由について ・令和 5 年度及び令和 6 年度の消防団員の入退団者数について ・瀬川右岸水防事務組合負担金が年度ごとに変動する理由について ・美濃山地区防火水槽の撤去理由及び撤去に伴う影響について ・消火栓の更新基準及び耐用年数について ・梯子車のオーバーホールに要する期間及び点検場所について ・消防職員の勤務体制について ・京都府南部消防指令センターにおける府境地域及び高速道路の対応に係る連絡体制並びに市消防本部における本署と分署の連携について ・水中ドローンの維持、管理方法について
政 策 企 画 部	・松花堂庭園管理に係る国、府の助成金について ・広報やわたりリニューアルの工程について ・だんだんテラス事業助成の減額理由及び積算根拠について ・機械翻訳システムの導入台数及び導入イメージについて ・生涯学習センターLED照明更新をリース契約で積算した経緯について ・自治連合会活動事業助成の対象事業について ・法律相談と女性弁護士相談の所管部署が異なることによる課題並びに相互の連携及び調整について ・令和 5 年度の生涯学習フェスティバルでの講演内容について ・八幡市駅前整備等観光まちづくり構想に基づく創造的事業の創出に向けた研修会の対象及び内容について ・自衛官募集活動への名簿提供と自己情報コントロール権に係る個人情報保護審議会の見解について ・男山団地E地区集会所修繕の内容及び費用の市負担について	市 民 生 活 部	・ふれあい訪問収集の実施方法並びに利用対象者の要件及び利用実績について ・パートナーシップ宣誓制度施行に伴う証明書発行に係る予算が計上されていない理由について ・市民課窓口業務委託におけるトラブルの有無及び効果について ・臭気検査分析の方法及び久保田川周辺の悪臭について ・過去 3 年間のふれあい訪問収集の利用者数について ・女性弁護士相談事業と法律相談との連携、調整について ・部落解放・人権政策推進に係る取組を実行委員会形式で実施する意味について ・八幡人権・交流センターのデイサービス事業に係る委託費用の財源内訳について ・大型ごみの再利用について
総 務 部	・旧庁舎整備プロポーザル選定発注支援業務委託の内容及び金額の妥当性について ・電算化事業費における国庫支出金の増額要因について ・防災備蓄品におけるブルーシートの購入について ・光熱水費における旧庁舎との比較について ・自治体情報システムの標準化・共通化事業の完了年度及び完了までの概算費用について ・ドローン操作講習の対象及び新たな免許取得予定者数について ・顧問弁護士契約の相手方及び契約内容について ・旧庁舎の解体及び整備の考え方並びに今後の流れについて ・防災士資格認証登録の対象者並びに資格取得のメリット及び効果について ・市所有の公用車総数及び公用車のEV化について ・災害時生活用水協力井戸を使用する想定状況について	上 下 水 道 部	（水道事業会計） ・新たに第 3 号取水井の更新を行う理由について ・量水器売却により損失が発生する理由について ・保有している給水車の概要及び購入予定の給水車の概要について ・京都府営水道受水費が原水及び浄水費に占める割合が高い理由及び京都府営水道受水費の減額の可能性について ・未処分利益剰余金の推移から見た値上げによる水道経営収支の分析について ・一般会計からの出資金の各年度におけるばらつき要因及び令和 6 年度の見通しについて （下水道事業会計） ・水洗化困難箇所ポンプ設置に係る補助実績及び設置箇所数並びに補助率について ・下水道技術支援業務委託の内容及び委託理由について ・令和 6 年度中に予定している下水道の新設工事の場所及び予算額について ・下水道の人口普及率が 100%にならない理由について ・未処分利益剰余金の適正水準について ・企業債の返済期間及び返済金の原資について ・吉野遊園雨水地下貯留施設の貯留量の設定について
選 管 事 務 局	・八幡市明るい選挙推進協議会委員の構成及び選挙啓発に係る主な活動内容について ・高齢者及び障がい者への投票に係る配慮について ・高齢者等が投票しやすい環境整備について		

	質 疑 事 項		質 疑 事 項
産業振興室	(一般会計) ・お茶の京都DMOにおける観光促進の効果について ・現在の市民農園の貸出区画数について ・男山緑地景観保全地区維持管理業務の事業内容並びに委託先及び委託料の積算根拠について ・大学連携環境教育推進事業の予算額及び事業の継続性について ・大阪・関西万博関連事業の詳細について ・農業者の労災保険加入率について ・アライグマ防除京都広域協議会負担金の概要について ・太鼓まつり連絡協議会活動助成が令和5年度より増額となった理由について ・がんばる農業助成交流会事業の今後の事業継続について ・指定管理料の見直しに伴うやわた流れ橋交流プラザの赤字解消の見通しについて ・自動車処理事業における油の流出に係る水質汚染対策及び事業所への指導について ・中小企業奨学金返還支援事業助成の周知、啓発方法について ・やわたブランド創造事業の内容について (駐車場特別会計) ・使用料収入の算出根拠について	健康福祉部	(休日応急診療所特別会計) ・医療用機械器具修理の内容について (国民健康保険特別会計) ・令和5年度予算と比較して公金収納手数料が減額している理由について ・国民健康保険証の交付状況における令和3年度及び令和5年度の未交付件数が少ない理由について ・国民健康保険の一部負担金減免制度の周知及び利用への改善について (介護保険特別会計) ・介護認定に係る主治医意見書の審査件数の減少要因について ・居宅介護サービス給付費の増額理由について ・申請から介護認定までに要する期間について ・介護予防福祉用具購入費及び介護予防住宅改修費の1人当たりの上限額及び補助率について ・介護保険料の今後の見通しについて ・介護保険給付費基金の令和5年度の当初見込みと実績が乖離している要因及び令和6年度の増額見通しの設定根拠について (後期高齢者医療特別会計) ・後期高齢者医療保険料の滞納が発生する要因について ・高齢者の医療費負担軽減について
	建設産業部 ・令和6年度内での男山北部地籍調査事業の完了について ・道路照明に係る新設箇所選定までの手順について ・公共交通網再編検討業務の委託先及び委託内容について ・橋本駅前広場整備に係る設計業務の詳細について ・雨水排水基本計画の改定の目的及び委託期間について ・駅周辺地区まちづくり構想の策定手法について ・市営住宅等除却工事費の内容について ・公園長寿命化の対象公園及び工事内容について ・公共交通網再編検討業務委託の目的について ・市民ニーズを考慮した公共交通予算の増額について ・音響式信号機の増設及び横断歩道のエスコートゾーン導入について ・交通安全指導員に係る定数の規定及び資格要件について ・交通安全施設整備における歩道のバリアフリー化の内容について		こども未来部 ・地域子育て支援拠点事業費助成の内容及び事業名称の変更理由について ・学校給食における地産地消のメリットについて ・不登校対策としてのスペシャルサポートルームの事業内容及び予算額について ・学校検診における着衣検診の実施について ・令和5年度に計上されていた人権教育総合推進地域事業費が予算計上されていない理由について ・地域による寺子屋事業の試行期間について ・「学びの土台」育成事業の詳細について ・くすのき小学校で実施した民間委託による水泳指導の評価について ・学習支援事業の開催場所及び出席者の地域の偏りについて ・南ヶ丘教育集会所以外の地域での学習支援の取組について ・特別支援教育における個別指導の対象者の増加要因について ・スペシャルサポートルームの対象者数及び期待する効果について ・いじめ防止対策委員会の委員構成及び開催スケジュールについて ・地域による寺子屋事業とスタディサポート事業との区分について
	福祉事務所 ・成年後見制度利用促進等を図るための中核機関の整備計画について ・手話奉仕員養成研修の参加資格について ・意思疎通支援事業費の増額理由について ・共同浴場管理運営費に係る人件費以外での増額要因について ・児童手当拡充に伴う事務の年間スケジュールについて ・定額減税補足給付金に携わる職員体制について ・障がい児者補装具自己負担金助成の対象となる補装具及び利用者負担額について ・災害弔慰金等支給審査委員会の主な審査内容及び委員構成について ・過去5年間の生活保護受給費の推移について ・生活保護費に係る国制度分の諸収入の内訳について ・ヤングケアラーの実態に係る市の評価及び調査の実施について ・災害見舞金等支給経費に係る支給方法の詳細について		歳入 ・固定資産税の評価替えに伴う影響額について ・豊かな森を育てる府民税市町村交付金の制度概要及び使途について ・環境整備協力金の減額理由及び今後の見通しについて ・市民税の増額要因について ・緊急防災・減災事業債を充当する事業について ・令和6年度末の基金残高見込額が少ない理由について
健康福祉部	(一般会計) ・日常生活用具の給付申請を断った事例の有無について ・やわた未来いきいき健康プロジェクトに係る予算の減額理由と減額の影響について ・元氣アップ事業の内容並びに令和5年度の開催実績及び令和6年度の事業予定について ・産前産後保険料減免に係る操出金の積算根拠について ・がん検診に係るクーポン事業の廃止理由について ・長寿・健康増進事業費における諸収入の内訳及び算定基準について ・老人医療負担金貸付金の返済期限について ・子育て支援医療給付費の府及び市の負担割合について ・子どもの医療証とマイナ保険証の取扱いについて ・がん患者補装具購入費助成の対象となる補装具及び補装具の種類ごとの助成について	総括	・段階的な学校教育の無償化について ・旧庁舎解体整備の進め方について ・旧庁舎解体整備に係る有利な財源を活用するための条件について ・産業振興ゾーン以外での開発の考えについて ・観光消費額向上のための方策について ・上下水道事業に係る国・府・市からの公的支援について ・旧庁舎整備に係る業務委託の内容について ・上下水道事業管理者設置の考えについて

令和6年度一般会計決算の費目別内訳



令和6年第2回定例会の予定

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 6月7日(金) 本会議(開会日) | 6月25日(火) 総務常任委員会 |
| 6月14日(金) 本会議(一般質問) | 6月26日(水) 文教厚生常任委員会 |
| 6月18日(火) 本会議(一般質問) | 6月27日(木) 建設水道常任委員会 |
| 6月20日(木) 本会議(一般質問) | 7月1日(月) 本会議(閉会日) |
| 6月21日(金) 本会議(一般質問予備日) | |

* 本会議および委員会は基本的に午前10時開会予定です。
* 定例会の予定は、今後変更となる場合があります。

令和6年第1回定例会 議案・議決結果一覧表

令和6年第1回定例会の審議結果は次のとおりです。（○=賛成、×=反対）

議案番号	件名	議決結果	共産党					自民党			公明党		共 生		新風会		維新	無派					
			山本邦夫	巖 博	中村正公	澤村純子	中村法子	山田芳彦	鷹野雅生	奥村順一	横須賀生也	太田克彦	清水章好	田邊晴美	福田佐世子	小川直人		大野裕美	南本 晃	小北幸博	叶 善之	寺田圭佑	山口克浩
議案第1号	令和6年度八幡市一般会計予算案	原案可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※議長のため採決に加わっておりません。	○	○	○	○	
議案第2号	令和6年度八幡市休日応急診療所特別会計予算案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第3号	令和6年度八幡市駐車場特別会計予算案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第4号	令和6年度八幡市国民健康保険特別会計予算案	原案可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第5号	令和6年度八幡市介護保険特別会計予算案	原案可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第6号	令和6年度八幡市後期高齢者医療特別会計予算案	原案可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第7号	令和6年度八幡市水道事業会計予算案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第8号	令和6年度八幡市下水道事業会計予算案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第9号	八幡市会計年度任用職員の給与その他の給付に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第10号	八幡市長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第11号	八幡市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×
議案第12号	八幡市子育て支援医療費支給条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第13号	八幡市介護保険条例の一部を改正する条例案	原案可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第14号	八幡市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第15号	八幡市福祉医療費支給条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第16号	八幡市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第17号	八幡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第18号	八幡市行政財産の使用料徴収条例等の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第19号	八幡市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第20号	八幡市消防手数料条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第21号	八幡市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第22号	八幡市上水道給水条例及び八幡市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める条例の一部を改正する条例案	原案可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第23号	八幡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第24号	令和5年度八幡市一般会計補正予算(第7号)案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第25号	令和5年度八幡市休日応急診療所特別会計補正予算(第1号)案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第26号	令和5年度八幡市駐車場特別会計補正予算(第1号)案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第27号	令和5年度八幡市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第28号	令和5年度八幡市介護保険特別会計補正予算(第1号)案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第29号	令和5年度八幡市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第30号	令和5年度八幡市水道事業会計補正予算(第4号)案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第31号	令和5年度八幡市下水道事業会計補正予算(第3号)案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第32号	八幡市道の路線の認定、変更及び廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第33号	城南衛生管理組合規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第34号	八幡市税条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出議案第1号	八幡市議会議員の請負の状況の公表に関する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第1号	大阪・関西万博の中止を求める意見書提出に関する請願書	不 採 択	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
請願第2号	世界保健機関(WHO)に係る情報開示を求める意見書提出に関する請願書	不 採 択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
意見書案第1号	緊急防災・減災事業債の期間延長及び一層の充実を求める意見書案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※報告第1号「専決処分事件の報告について(和解)」、報告第2号「専決処分事件の報告について(和解及び損害賠償の額の決定)」は議決を要しないため、報告のみで終結しました。
※議案第35号「教育長の任命について」は、原案の候補者 川中 尚(かわなか たかし)氏の任命に同意しました。

会派名等	共産党 = 日本共産党八幡市議会議員団 共 生 = 共生クラブ 新風会 = 新風会 自民党 = 自由民主党八幡市議会議員団 公明党 = 公明党議員団 維 新 = 日本維新の会八幡市議会議員団 無 派 = 無会派
------	---